

# 「注意と認知」研究会 第19回研究会プログラム

(2021年3月7日～8日 オンライン開催)

<b>7</b> SUN	注意や記憶の特性(1)	10:00-10:25	1	注意資源量が他者知覚の初期プロセスに与える影響：Anterior N2による検討 加戸 瞭介（慶応義塾大学文学部／日本学術振興会）
		10:25-10:50	2	瞳孔径変動量は注意状態を支える青斑核の一過性活動に影響される 山下 純平（NTTアクセスサービスシステム研究所／京都大学）
		10:50-11:15	3	異なる注意資源下での affective priming effect と 後期陽性電位 朱 安琪（筑波大学）
	感覚間相互作用	11:15-11:40	4	視聴覚刺激における一体性の仮定が同時性知覚の再較正に与える影響 宇野 究人（東京大学）
		11:40-12:05	5	視聴覚コンテンツの印象の調和・不調和が映像的没入感に与える影響 張 馨月（立教大学）
昼食				
注意や記憶の特性(2)	13:00-13:25	6	画像の情動性が注意配分と空間作業記憶に及ぼす影響 李 月穎（神戸大学）	
	13:25-13:50	7	視覚的ワーキングメモリに視線・表情が及ぼす影響 土井 菜穂（山形大学）	
知覚と認知一般(1)	13:50-14:15	8	ソーシャルロボットによる覚醒効果 原 航基（京都大学）	
	14:15-14:40	9	仮想空間内における仮想手の光点提示に対する身体所有感および自己受容感覚ドリフト 中山 友瑛（福井大学）	
【特別講演】	14:50-15:50	19	バーチャルリアリティで変わる身体と心 北崎 充晃（豊橋技術科学大学）	
懇親会 16:00-17:30				
<b>8</b> MON	注意や記憶の特性(3)	10:00-10:25	10	周辺視野に呈示された自然画像の色判断における注意の効果の検討 大久保 らな（東京大学）
		10:25-10:50	11	色のミスマッチは視覚刺激の再認の時間を短縮する 川島 淨子（東海大学）
	知覚と認知一般(2)	10:50-11:15	12	機械学習を用いた頭部・眼球運動からのパーソナリティ推定 蟹江 大成（京都大学）
		11:15-11:40	13	未就学児のひらがな習得と音韻意識：追跡および大規模調査に基づく発達過程と評価基準の検討 奥村 安寿子（一橋大学／日本学術振興会）
		11:40-12:05	14	オントロジーによる心理実験データベースの作成 上田 祥行（京都大学）
昼食・運営委員会				
注意や記憶の特性(4)	14:00-14:25	15	他者を行う共同探索が統計学習に与える影響 坂田 千文（京都大学）	
	14:25-14:50	16	視覚探索課題間に生じる非目的指向的な眼球運動の特性 竹本 あゆみ（University of Latvia）	
知覚と認知一般(3)	14:50-15:15	17	補助運動はテンポの維持に貢献するか？ 小西 慶治（東京大学）	
	15:15-15:40	18	矢印刺激がマウス操作時間に与える影響 光松 秀倫（名古屋大学）	